

○ ワークショップ「現代会計問題研究会」

開催責任者 経営学部 齋藤 孝一

2006年2月24日

南山大学名古屋キャンパス J棟 415室

ワークショップは参加者16名、以下のプログラムで開催された

◇報告者および題目

小林礼実（名古屋大学大学院経済学研究所）

「An Empirical Test of Market Discipline at Banks by Certificates of Deposit Holder: Evidence from the Japanese CD Market.」

長谷川高則（南山大学経営学部）

「都市再生における減損会計導入の影響について」

◇ワークショップの討論内容

小林氏の発表について：

わが国 CD 市場において、邦銀発行の CD が銀行個別リスクに敏感に反応することを見出した初めての論文であるということ、研究方法は外国文献において行なわれている方法を日本企業に適用したものであることが報告されたが、ペイオフ部分解禁前と後の分析結果の解釈について意見が交わされた。繰延税金の影響は、米国等の諸外国とわが国では一様に解釈できないのではないか等についての見解が示された。

長谷川氏の発表について：

わが国の大都市と地方都市における開発の現状の違いから、減損会計の企業に及ぼす影響を考察しようとするものであるとの報告がなされたが、都市再生と不動産取引との関係、都市再生と公共事業との関係などについて意見が交わされた。また、企業が減損会計を適用しようとする場合のモチベーション等について見解が示された。

◇研究成果発表

各発表者ともさらに研究を深化させるものと期待されるが、今後の発表についての詳細は未定